

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 1 安全で安心して暮らせるまちに
重点的取組 2 災害に強いまちをつくる

担当課名	消防本部 警防課
予算科目	01 一般会計
款	08 消防費
項	01 消防費
目	02 非常備消防費

事業名	消防団活動運営事業	事業開始年度	平成 23 年度
	減少が続いている消防団員の増員。	根拠法令 条例 個別計画等	第五次総合計画前期基本計画 1-1-2 災害に強いまちをつくる

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	平成18年3月1日から徐々に団員数が減少傾向にある。また、消防団員の6%を占める60歳代の消防団員の退団時期が迫っている状況にあるため、平成23年度から毎年度20名以上の増員を目指す。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市・消防団	廿日市市消防後援会 町内会、大規模店舗	イベント等での勧誘活動。

3 平成 25 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

平成18年3月1日から徐々に団員数が減少傾向にある。また、消防団員の6%を占める60歳代の消防団員の退団時期が迫っている状況にあるため、平成23年度から消防団員の確保を行う施策を実施する。平成24年度は、全地域で増員に取り組み20名増員、635名（H25.4.1現在）過去最高となった。条例定数732名を目指し3ヵ年目も、増員計画を全域で実施し、毎年度20名以上の増員を目指す。

現在条例定数と実員数に開きがあるため、消防団員確保施策を行い条例定数に近づける。
条例定数732人 実員635人（平成25年4月1日）
消防団員確保施策

- 消防団員による勧誘活動
- 消防職員による勧誘活動
- 町内会等への人材供給依頼
- 大規模店舗、イベントでの街頭勧誘活動
- 消防後援会にも協力してもらい消防団員勧誘活動

(H23.4.1) (H24.4.1現在) (H25.4.1現在) (H26.4.1見込み)
消防団員数 598人+退団△26人+入団46人=615人+入団20人(増加分)=635人+入団20人(増加分)=655人

・事業費全体
【歳出】
新入団員報酬（20名分） 449千円
新入団員費用弁償（20名分） 1,111千円
新入団員被服費（20名分） 1,950千円
消防後援会補助金 300千円

コスト情報（円）

項 目		平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	平成 25 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A	3,026,881	3,764,000	3,810,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	3,026,881	3,764,000	3,810,000	
	人件費(按分) B	0.05 人 442,450	0.05 人 442,850	0.32 人 2,800,640	
	総事業費(A+B)	3,469,331	4,206,850	6,610,640	
ト換算 単位 コス	①人口（4月1日現在）	118,353 人	118,353 人	118,000 人	
	市民1人当たり	29	36	56	
	②				

到達目標

活 動 及 び 成 果 指 標		単位	H 23 実績値	H 24 目標値	H 25 目標値	H 27 目標値	備考
活動 成果	新入団員数	人	40	34	46	46	
	増加団員数	人	17	20	20	20	
	全消防団員数	人	615	635	655	695	
	条例定数からの充足率	%	84	87	89	95	